

写真家・秋山庄太郎
銅版画家・浜口陽三と
パリの四ヵ月



前期 | 2015 10.10 Sat. → 11.29 Sun.
後期 | 2015 12. 1 Tue. → 2016 1.24 Sun.



A1

■ ごあいさつ ■

人物ポートレートやライフワーク「花」をはじめ、独特の叙情的作風で写真界の第一線で活躍した秋山庄太郎（1920-2003）。同氏は40歳の年、順風満帆だった仕事を整理し、ヨーロッパ外遊に出かける決意をします。そして1960年2月からの4ヵ月間、行く先々で風景や芸術家の肖像などをフィルムにおさめました。美しきものを写しとめる、という独自の美学に基づいた写真には一瞬のドラマがあり、被写体も風も光もまるでその1シーンのために存在するかのようです。

銅版画家・浜口陽三（1909-2000）はパリで巨匠の名声をほしいままにし、この年はヴェネチア・ビエンナーレの日本代表作家の一人に選出されていました。秋山氏は、パリに着いた翌々日に浜口を訪ね、その後もたびたび行動を共にしました。外遊中に撮影されたフィルムには、浜口の刷り場やアトリエ、版画家・スタンレー・ウィリアム・ヘイターと議論する様子、ビエンナーレに沸くヴェネチアの街角が写っています。

本展では、秋山庄太郎写真美術館の全面的な協力を得て、残されたフィルムから、パリやヴェネチアの写真、資料など50点ほどを紹介いたします（前後期で展示替）。多くが初公開です。浜口陽三の銅版画については、秋山氏が所蔵していた中より特に気に入りだったという「4つのさくらんぼ」を含む3点と、ヴェネチア・ビエンナーレ出品作を中心に約30点を展示いたします。

秋山庄太郎の目を通した陽気で輝かしい芸術の都を、浜口陽三の銅版画と共にご鑑賞ください。

——浜口陽三先生のメゾチント作品は、私の静物写真への傾斜に深い係わりがある。沈潜した画面の奥に煌めくような光沢が実に美しい。私は若い頃から黒の多く占める作調に拘り続けていて、それがポートレート作品にも表現するようになったのは、パリで浜口芸術に触れたことに無縁ではない、そう思っている。—— 秋山庄太郎

1985年7月（『現代日本の作家たち』サン・アート、1990年）

■ 展覧会概要 ■

日時 | 2015年10月10日(土)~2016年1月24日(日)
《前後期で写真の展示替
前期:10/10(土)~11/29(日) 後期:12/1(火)~1/24(日)》
会場 | ミューゼ浜口陽三・ヤマサコレクション
入館料 | 大人600円 大学生・高校生400円 中学生以下無料
休館日 | 月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)、年末年始(12/24~1/8)
※10/17(土)はイベント開催のため12:00で閉館
開館時間 | 11:00~17:00(最終入館16:30、土日祝は10:00開館)
《ナイトミュージアム/会期中第1・3金曜*20:00まで開館(最終入館19:30)》

*第1・3金曜…10/16、11/6、11/20、12/4、12/18、1/15の6日間

※11/15(日)はイベント開催のため、1階会場が鑑賞しにくくなります。 ※休館日、開館時間等は都合により変更する場合がございます。

■ 美術館概要 ■

ミューゼ浜口陽三・ヤマサコレクション
住所 | 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7
TEL | 03-3665-0251
FAX | 03-3665-0257
E-mail | musee@yamasa.com
HP | http://www.yamasa.com/musee/
アクセス | 東京メトロ半蔵門線[水天宮前]3番出口そば
東京メトロ日比谷線[人形町]A2出口徒歩8分
首都高速箱崎I.C[浜町出口]または[清洲橋出口]T-CAT駐車場前



A2



A4



A5



A6



A3



A7

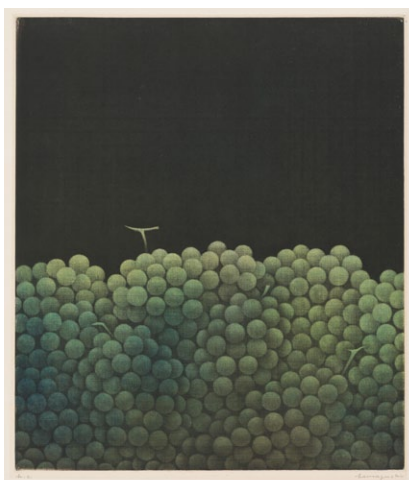
秋山庄太郎 作品：

「パリの四か月」より(1960年撮影)

- A1 スタンレー・ウィリアム・ヘイターのアトリエにて
- A2 パリジェンヌ(ヴァレリー嬢)
- A3 街角にて
- A4 刷り師を見守る浜口陽三
- A5 パリの女性たち
- A6 サーカス会場にて
- A7 浜口陽三と南桂子ーサン・ジェルマン・アン・レーにて

写真はすべてセラチン・シルバー・プリント

©秋山庄太郎写真美術館



★ H1



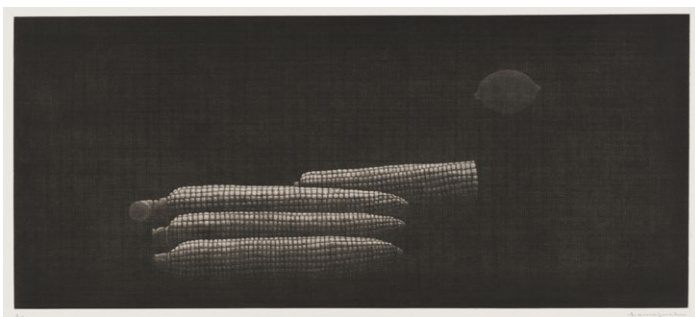
★ H2



★ H3



H4



H5

浜口陽三 作品：

- H1 「暗い背景のぶどう」1961年 34.3×29.5cm カラーメゾチント
- H2 「4つのさくらんぼ」1963年 23.3×54.2cm カラーメゾチント
- H3 「蝶」1967年 11.4×11.5cm カラーメゾチント
- H4 「ざくろとぶどう」1957年 29.4×44.2cm メゾチント
- H5 「どうもろこし」1959年 23.5×54.1cm メゾチント

★印は秋山庄太郎写真美術館所蔵

■ 関連イベント ■

イベント1 講演会『秋山庄太郎の欧州旅行』

本展テーマの欧州旅行をはじめ、秋山庄太郎の思い出や魅力を語っていただきます。

出演 | 上野 紀子(秋山庄太郎長女/秋山庄太郎写真美術館 事務局長)
齋藤 智志(秋山庄太郎写真美術館 主任学芸員)

日時 | 10/17(土) 15:00~16:00

講演会后1時間程度、自由参加のお茶会があります。

参加費 | 入館料+300円

定員 | 50名

イベント2 銅版画・モノクロームメゾチント体験教室

1回の実習で製版から刷りまで行い、ポストカード大の作品を完成させます。初めての方でも無理なく参加いただける、初心者向けの教室です。

講師 | 江本 創(アーティスト)

日時 | ①11/15(日) ②11/16(月) ①②とも14:00~17:00

定員 | 各回12名

持ち物 | 下絵(サイズ12×7.5cm)、汚れてもよい服装またはエプロン

参加費 | 入館料+1800円(材料費込)

※経験者(当館のメゾチント教室に参加されたことがある方)も可。(各回数名)

※技法はモノクロームメゾチントに限ります。詳細はお問い合わせください。

※11/16(月)は休館日の開催となりますが、参加者は展覧会をご覧いただけます。

イベント①②申込方法

9/17(木) 11:00より電話にて受付開始(先着順)

プレスリリース
ご担当者様へ

ぜひ展覧会にお越し下さい。あわせてご取材いただけますと幸いです。
画像をご希望の際は、画像の番号をお申し付けください。
お問い合わせは広報担当の柳原までよろしく申し上げます。

掲載情報について、詳細は当館webサイト
またはお電話にてご確認ください。